



(令和3-4年度パンフ)

合同会社オフィスぼん (運営法人)

bon キッズ北堀江 (障害児通所支援事業所)

※bon キッズ北堀江は、大阪市発達障がい児専門療育機関を受託しています。

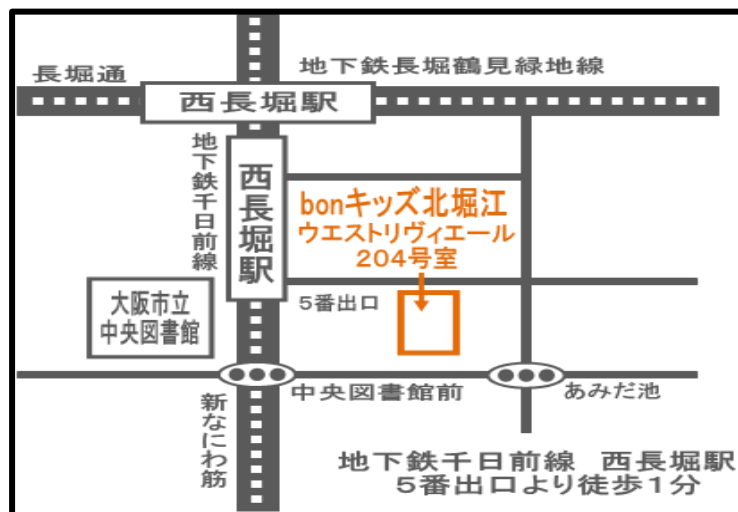
〒550-0014 大阪市西区北堀江3丁目12-31

ウエストリヴィエール204号室

TEL : 06-4390-4171 FAX : 06-4394-7003

e-mail : bonkidskitahorie@gmail.com

❖ アクセス



❖ 大阪市発達障がい児専門療育の対象者と定員

- ・大阪市内に居住し、医療機関で「自閉症スペクトラム」「広汎性発達障害」「アスペルガー症候群」等の診断を受けた3歳～小学校3年生の子どもと保護者で、大阪市発達障がい者支援室に利用希望登録をしている方。
- ・1年間(9月開始～翌年8月終了)継続して通所し所定の療育セッションを受けることと、保護者研修会にも参加すること(定員40名)。
- ・児童発達支援または放課後等デイサービスの受給者証が必要になります。



❖ 利用料金

- ・国が定める障害児通所給付費の利用者負担額。
- ・専門療育に関する初期評価や面談、保護者研修会等は無料です。

❖ 利用までの流れ

・医療機関での診断・専門療育利用希望の登録
(大阪市発達障がい者支援室 TEL : 06-6797-6560)

・障がい児通所受給者証の申請
(お住まいの区の保健福祉センター福祉業務担当の窓口)

・bon キッズ北堀江との利用契約

・bon キッズ北堀江での初期評価(聞き取りと行動観察)と個別プログラムの作成

・1年間の療育セッションと保護者研修会がスタート

❖ 療育について

療育セッション(月2回程度)と保護者研修会(年10回)を4つのステージに分けて、プログラムを進めていきます。



専門療育	子ども	親（保護者研修会）
1 ステージ	評価と個別セッション 教室の活動に慣れる 自立課題と1:1課題 コミュニケーションプログラム	特性の理解 評価の方法 個別化の視点 支援スタッフとの協力
2 ステージ	学習課題を中心（学校の課題など） グループ活動 余暇・家事活動組立	個別プログラム（PLAN-DO-SEEのサイクル）
3 ステージ	プログラムを教室から外に般化させていく（家事・地域活動へ）	活動の組み立て 自立課題の作成と教授
4 ステージ	コミュニケーション、会話、意味理解、 対人ゲーム、自己理解、コーピング 家庭教育、学校教育への引き継ぎ	家庭・学校での実践へ

・療育セッション（1回約1時間のセッションです）

子ども担当スタッフが療育をすすめ、保護者担当スタッフが療育のねらいや子どもの特性・評価を解説します。

保護者が家庭教育を実践し、幼稚園や学校の先生と連携を深めていけるように、保護者が直接子どもに課題を教えていく機会も設けていきます。



自立課題



コミュニケーション
(おやつ場面)



余暇活動(ゲーム)

・保護者研修会

専門療育の一環として、年10回の保護者研修会を開催します。大阪市の発達障がい児専門療育の対象となっている保護者の方は、必須です。

テーマ	内容 *講師等によって変更することがあります
自閉症の特性 特性に合わせた支援	自閉症の特性を確認し、子どもの捉え方を整理する 構造化のアイデアの説明と紹介。
評価	評価のポイントと個別プログラムの立案の考え方インフォーマルな評価（直接観察）の実習
サポートブック グループワーク	子どものプロフィールを整理しよう
ゲストトーク	先輩の親御さんや当事者・支援者の話
視覚的な支援について	具体的な対応事例、アイデア
行動の理解	困った行動の原因・理由を整理し、予防を検討する。
家庭での支援	家庭での支援や対応の事例紹介
取り組みについて	構造化のアイデアを実生活に活かしたこと
社会資源の活用 学校との連携	福祉サービスや学校との連携について解説します

※テーマの順番や内容を変更することがあります。

❖ bon キッズを利用されている保護者の方の声

親は、本人のできないことに注目してばかりでしたが、環境や対応を改善することでできることがたくさんあることを知りました。子どもの可能性を発見でき、親も学べて、とても楽しく通っています。

いつもと違う子どもの姿を見ることができて、毎回勉強になります。相談にもっていただけるので、親子ともに楽しく通っています。

通うようになってから、子どもの自信がとてつきました。子ども自身も喜んで通っているので、合っているんだなと実感しています。家でできることなどもアドバイスしていただけるのでありがたいです。